

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【公開番号】特開 2011-120929 (P2011-120929A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2011-12390 (P2011-12390)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/115 (2006.01)

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/11 3 1 0

A 6 1 B 17/32

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

輪状外科用ステーブルデバイスの伸長中空シャフトにおける用途のためのプッシャーリンクであって、該ステーブルデバイスは、以下：

伸長プッシャーリンクであって、長手軸、近位端、遠位端、そのそれぞれの近位端および遠位端に隣接する輪状部分、ならびに該輪状部分の間であり、そして該輪状部分に接続する伸長中間部分を有する、伸長プッシャーリンク；

該プッシャーリンクの近位端に近位に位置付けられ、そして、該近位端に接続される、発射アクチュエーター；

該プッシャーリンクの遠位端に作動可能に結合するシェルアセンブリであって、該シェルアセンブリは、複数のステーブルを収容し、かつアンビルアセンブリに接続可能な伸長部材を有している、シェルアセンブリ；

該プッシャーリンクを収容するための伸長穴を有する、伸長管シャフト、および

該管シャフト中で、該管シャフトの直径に沿って収容された、一対の伸長した実質的に平坦な伸長部材；
を備え、

ここで、該プッシャーリンクの中間部分の一部分は、該プッシャーリンクの長手軸を横切る垂直切片で見た場合に U 字形状の構成を有し、該 U 字形状の構成は、実質的に平坦な底壁を備え、該底壁は、管シャフトの直径に平行であって、該管シャフトの直径の一方の側に配置され、そして、該管シャフトの直径に隣接し、該底壁の各端は、該直径を横断して、かつ該管シャフトの穴の内面の一部分にそって隣接する直立した側壁を有し、該底壁は該管シャフトの穴の半径の半分よりも小さい厚さを有する、プッシャーリンク。

【請求項 2】

前記伸長部材は、前記プッシャーリンクの底壁に隣接する前記管シャフトの直径に沿って配置される、請求項 7 に記載のプッシャーリンク。